

# 第一種指定電気通信設備に係る接続関連システム経費の 適正性に関するヒアリング

---

KDDI株式会社

2023/12/19

- 接続関連システムが開発・改修される際には、[NTT東西殿より、接続事業者向けに以下の内容について都度情報開示・説明いただいている](#)。（詳細はスライド2～4参照）

説明・情報開示方法	情報開示タイミング		情報開示・説明内容
システム意見交換会	事業者要望後～開発着手前		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 接続事業者からの要望内容</li> <li>✓ 開発内容、システム上の影響箇所</li> <li>✓ 開発概算額</li> <li>✓ 接続料金への影響</li> <li>✓ 運用開始予定時期</li> </ul>
システム意見交換会 接続事業者へのメール周知 各種システムへのお知らせ掲載	開発着手後～ 運用開始前	運用開始の 6ヶ月前周知	✓ 画面、入出力CSV等の変更内容
		3ヶ月前周知	✓ 新機能の操作方法
		1ヶ月前周知	✓ 改修に係るシステム停止スケジュール

# 現在の取組状況（NTT東西殿における説明内容） [ 2 / 4 ]

資料29-2-6

## 2-1. 納期回答遅延理由等の拡充および専用項目化・履歴参照

研究会に関するシステム  
意見交換会

光ファイバ関連申込受付システム

### 1. 概要（接続事業者様からのご要望内容）

- ▶ 現在、加入タークファイバ（SS方式、シェアアクセス方式）において、中間回答（旬回答含む）にて納期遅延理由および提供見込み時期等を記事欄等で回答しております。
- ▶ 当社からの回答を記事欄ではなく専用項目にて表示し、履歴参照を可能としてほしいとの要望をいただいております。また、納期遅延理由（定型）を拡充してほしいとの要望をいただいております。

### 2. 検討内容およびシステム上の影響箇所

- ▶ 記事欄にて回答している「回答見込時期」「提供可能見込時期」「納期回答遅延理由（定型、記事）」について専用項目にて回答可能とすることを検討しております。
- ▶ また、調査回答時に当社から提示させていただいている分界点情報についても、専用項目にて回答可能とすることを検討しております。
- ▶ 納期回答遅延理由（定型）について、定型文言の拡充を検討しております。
- ▶ 中間回答履歴については、CSVにて抽出可能とする検討を実施しております。
- ▶ 影響箇所：画面、CSV、帳票（NTT東西）



3. 開発概算額 東日本： [ ] 西日本： [ ]

4. 接続料金への影響(※1) 回線管理運営費 東日本： [ ]、西日本： [ ] 構成員限り

5. 運用開始予定時期 東西： [ ]

※1：2020年度実績の費用及び回線数に基づき試算した結果であり、今後SO管理等に係る費用及び回線数等が変動した場合には実際の影響額と異なることとなります。

出典：第29回 NTT東西システム意見交換会（2023/1/31）資料抜粋



資料29-2-10 2023年度及び2024年度開発項目および開発費用概算額について

光ファイバ開通申込受付システム

■ 2023年度及び2024年度開発項目の費用概算額

システム名	概算額(百万円)	
	東日本	西日本
光ファイバ開通申込受付システム		

構成員限り

■ 2023年度及び2024年度開発項目の一覧

項目	概算額 (百万円)	接続料金への 影響(円)※1	運用開始 予定時期
1 ファイル連携機能画面の機能改善			2024.2
2 中間回答機能の充実 (加入ダークファイバ)	2-1 納期回答遅延理由等の拡充および専用項目化・履歴参照		2024.2
	2-2 設備検討資料等の要求にかかる専用項目化およびステータス管理		2024.2
3 加入ダークファイバ各種申込時における納期情報開示			2024.2
4 局内ダークファイバにおける納期超過通知機能の実装			2024.8

構成員限り

※1：2020年度実績の費用及び回線数に基づき試算した結果であり、今後SO管理等に係る費用及び回線数等が変動した場合には実際の影響額と異なることとなります。

出典：第29回 NTT東西システム意見交換会（2023/1/31）資料抜粋



➤ 現在の取り組み状況における課題認識、およびNTT東西殿への要望内容については以下のとおり。

項目	現状の課題認識、要望内容
システム改修費用の 確定金額	<ul style="list-style-type: none"><li>開発着手前における改修費用の<u>概算額</u>については情報開示されているが、<u>実績額</u>（開発時に要した改修費用、および当該改修費用における接続料への影響額）については、開発完了・運用開始後においても<u>情報開示されておらず、概算額と確定金額における差分の発生有無、差分が生じた金額等について接続事業者にて把握できない状況</u>。</li><li>当該情報（実績額）を開示いただくことで、<u>接続事業者側で、概算と実績との差分や正確な接続料への影響額を把握できるようになる</u>ため、<u>新たに情報開示いただきたい</u>。</li></ul>



項目	現状の課題認識、要望内容
接続料への影響期間	<ul style="list-style-type: none"><li>• 開発項目毎に回線管理運営費への影響額は情報開示されているが、<u>回線管理運営費へ影響が生じる期間については情報開示されていない状況。</u></li><li>• 例えば、開発項目ごとにソフトウェア・ハードウェア等改修範囲が異なる場合があり、減価償却期間に差分が生じ、<u>接続料（回線管理運営費）の原価へ加算される期間が開発項目ごとに異なることが発生し得るのか、接続事業者には把握できない状況。</u></li><li>• <u>接続事業者側で、正確な接続料への影響額を把握できるようにするため、当該情報（回線管理運営費へ影響が生じる期間）について新たに情報開示いただきたい。</u></li></ul>



項目	現状の課題認識、要望内容
今後予定されている 主な開発案件への早 期実現	<ul style="list-style-type: none"><li>• 今後、NTT東西殿の接続関連システムにおいて、改修が予定されている主な開発案件としては、「<u>シェアドアクセス-コラボ光間の転用工事実現、残置回線における接続料化</u>」の2つの開発案件があり、NTT東西殿-接続事業者間の協議状況については、「①継続協議中、②2023年12月より協議開始」というステータス。</li><li>• 当該開発案件においては開発規模が大きく、接続事業者へ多大な影響が発生し、透明性・適正性が十分でない場合、事業者間の協議が難航することも想定される。</li><li>• そのため、今回、接続事業者から寄せられた課題・要望内容を踏まえ、透明性・適正性の確保に向けて、本研究会にて議論・整理された情報開示方法等については、NTT東西殿において<u>当該案件含め、可能な限り早期に実現・対応いただきたい。</u></li></ul>



Tomorrow, Together

**KDDI**

おもしろいほうの未来へ。

**au**

「つなぐチカラ」を進化させ、  
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

**KDDI VISION 2030**

